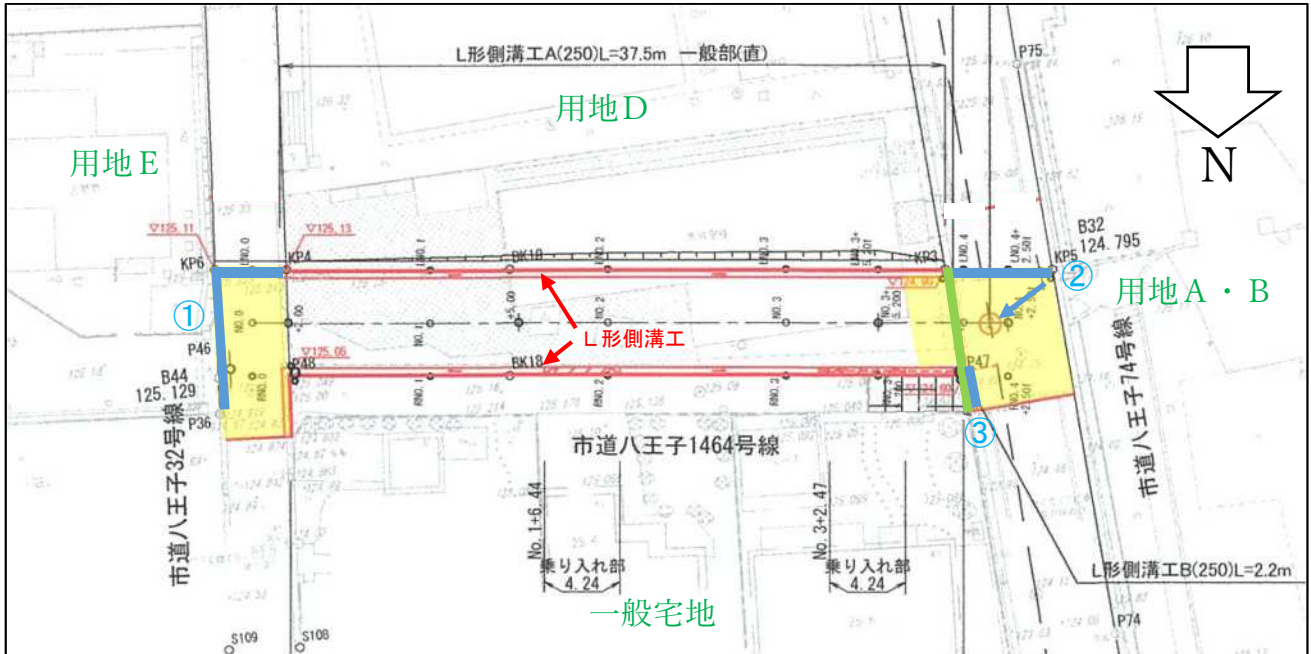
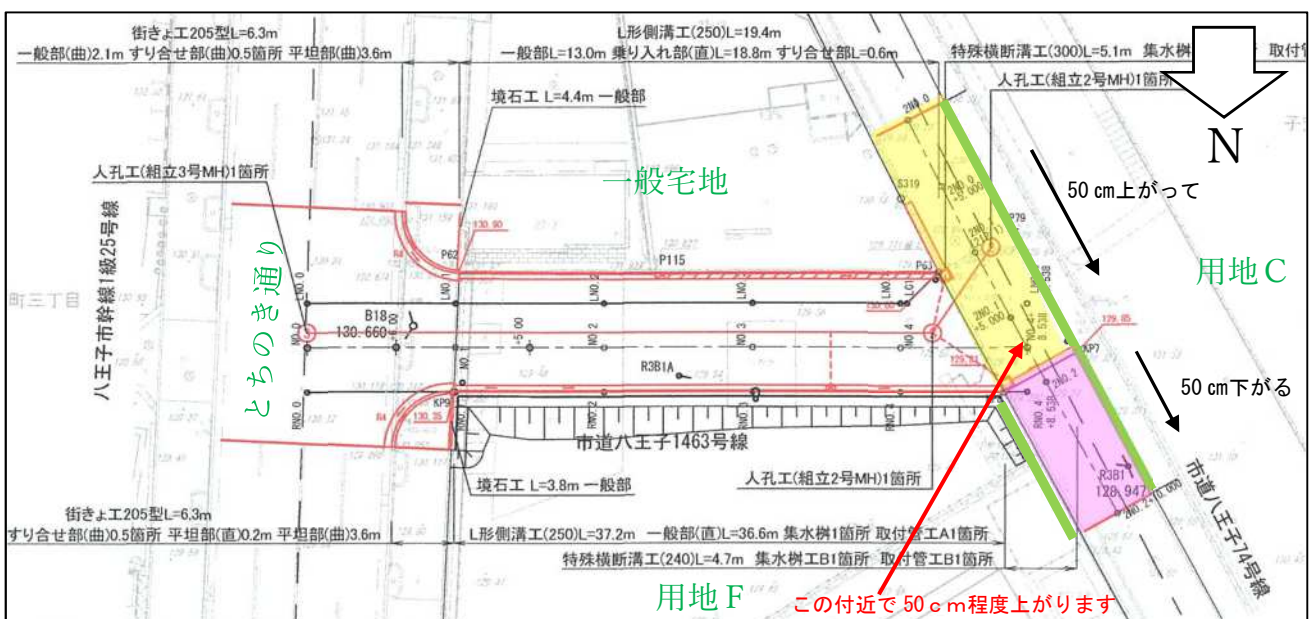
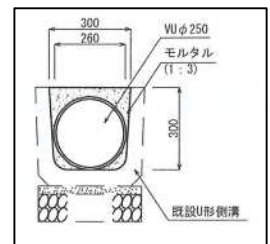


廃道に伴う影響部分の整備について



- ◎ 仮設の雨水管（黄緑色部分・右記断面図参照・延長約 8m）を撤去し、市で新設する L 形側溝（赤色二重線）に合わせて、L 形側溝を設置していただきます（水色部分・①～③の合計で延長約 20m）。また、L 形側溝の西端部（②の位置）に集水枿を設置し、新設人孔に取付管でつないでいただきます（水色矢印）。
- ◎ ①、②の L 形側溝の裏側に境石（幅 15 cm、厚さ 12 cm のコンクリートブロック・別途コンクリート及び碎石基礎必要・延長約 18m）を設置していただきます。
- ◎ 影響範囲の舗装を施工していただきます（黄色部分・表層 5 cm のみ・面積合計約 100 m²）。



新設される市道の走行性の観点から、黄色部分の縦断勾配を緩やかにするため、道路高が現況よりも 50 cm 程度高くなります。発生する高低差（黄緑色部分）はコンクリート土嚢または法面で処理します。ピンク色の部分は、廃道になるまでの期間の擦り付け部分で、アスファルト舗装です。

上記の説明図 2 枚は、現在作成・検討中の道路設計図をベースに作成しているため、今後変更されます。